

◎子育て環境の充実  
安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを進めます。  
・新たに、モデル事業として日曜・祝日の保育を実施 四百万円

◎高齢者・障害者福祉の充実  
お年寄りや障害のある方々の自立と社会活動への参加を支援するため



健康フェア

◎くまもと県民ヘルスプランの推進  
健康についてのイベントや健康教室の開催をはじめとして、健康づくりを応援する事業を市町村と協力して行います。

◎地域保健対策  
地域保健法の全面施行に伴い、保健所の機能を強化します。また、市町村保健センターの整備や保健婦をはじめとする人材確保などへの支援を行います。



健康のたよりと福祉の充実のため



花き栽培

◎農業の振興  
農業経営の安定を図るために、優良品種の育成など新しい技術の開発に努めるとともに、県産ブランド米の普及推進、収益性の高い園芸産地の育成、低コスト化による畜産経営体質の強化などに取り組めます。また、生産性の向上を図るために、土



魅力ある産業と環境を創出する労働環境づくり



ホームヘルパー活動

やさしいまちづくりを進めるとともに、ニーズにあったサービスの充実を努めます。  
・新たに、モデル事業として、高齢者を対象に早朝・夜間のホームヘルパーの派遣を実施 二千万円

◎商・工業の振興  
商店街の基盤施設整備を支援するなど、魅力ある商店街づくりを進めます。また、環境や福祉など今後の重要な分野に重点をおいた技術開発の支援など、県内企業の技術力向上・生産連携の強化、新分野進出などへの支援を行います。



稚魚の放流

◎水産業の振興  
小型魚の漁獲規制による保護や稚魚の放流などによる栽培漁業を推進するほか、大規模漁場保全整備などを行い、「つくり育てる漁業」を進めます。

◎林業の振興  
木材製品の高品質化・低コスト化に努めながら、県産材の需要拡大を図ります。  
・ブランド材の供給体制を整備するための事業 二千三百万円

地盤の整備を進めます。さらに、農業集落排水施設など生活基盤の整備にも取り組めます。  
・総合的な緊急農業農村対策（ウルグアイラウンド農業合意関連対策） 九十一億六千二百万円

◎教育  
今後の教育行政の指針となる教育文化振興のために

◎労働  
仕事を家庭の両立を支援するため、介護・育児休業制度の普及をはじめ、住民間での託児の橋渡しを行うファミリー・サポートセンターの設置など、支援体制の充実を図ります。  
・休業期間内の生活費の低利貸付の実施 二千万円

◎観光の振興  
大型観光キャンペーンを実施し、全国に熊本の魅力をアピールするとともに、観光客の誘致を積極的に行います。  
・JR各社と一体となって全国に向けたキャンペーンを実施 一億六千万円

◎文化の振興  
県立博物館の基本計画の策定や鞠智城跡（菊鹿町）の歴史公園化を進めます。また、市町村や民間団体等が行うさまざまな文化活動への支援を進めます。  
・鞠智城跡整備事業 四億七千四百万円  
・新たに、市町村が行う文化を柱としたまちづくりへの補助事業を創設 三千百万円

◎道路整備  
高規格幹線道路については、九州横断自動車道延岡線の御船・矢部間の早期事業化などを目指し、努力を続けるとともに、地域高規格道路の熊本天草幹線道路などの整備を図ります。主要幹線道路については、熊本阿蘇幹線道路や南関インター荒

◎「くまもと未来国体」  
平成十二年開催の第五十四回国民体育大会に向けた準備の仕上げを進めるとともに、県民総参加の機運を盛り上げます。

◎公共交通安全  
九州新幹線の最優先着工に向け、熊本駅周辺のまちづくりに向けて、JR鹿兒島本線などの鉄道高架化の早期事業化に努めます。  
バスについては、やさしいまちづくりの観点からの支援を行います。  
・新たに、都市圏の民間バス事業者が行う超低床スロープ付き路線バスの導入に対し、その費用の一部を補助します。 一千万円

◎環境対策  
平成八年度に策定した「環境基本計画」を着実に推進するとともに、環境アセスメントの制度化を図ります。新たに熊本地域においては、地下水のかん養を進めるため、雨水浸透ますの設置に対して支援を行います。

◎港湾整備  
熊本港や八代港の物流機能を拡充するとともに、三角港や水俣港などの整備を引き続き行います。また、ポートセールス（港湾の振興）活動に積極的に取り組みます。

◎情報化  
インターネットを利用した情報提供など、「地域情報化ビジョン」の着実な推進を図ります。

◎交通安全対策  
交通事故を防止するため、交通安全施設の整備やシートベルト着用を進めるなど、安全で住み良い熊本づくりを進めます。  
・災害や事件の状況は速に、的確な対応を図るため、ヘリコプターを利用したテレビシステムを新たに整備 二億九千六百万円

◎生活関連公共施設等  
快適で豊かな環境の実現に向けて、道路・下水道・住宅などの整備や地域景観の保全・創造を進めます。  
・球磨川上流域域下水道建設事業 二十六億三千万円



建設中の熊本天草幹線道路

「真に住みやすいくまもと」づくりに向けて、県総合計画の着実な前進を図ります。



熊本県知事 福島 謙二

緑さわやかな季節を迎えました。年度がわりのあわただしさも消えて、ようやく落ち着いた感じがいたします。県庁でも、すでに各部署において、新年度の各種事業・施策について、本格的な取り組みを進めているところです。  
県総合計画も策定から五年目を迎え、今年から計画期間の後半に入りましたが、おかげさまで戦略プロジェクトをはじめ計画に掲げられた主要な取り組みは、おおむね順調な歩みを進めております。今後とも、国・地方を通じて財政状況は厳しいものが予想されますが、社会経済情勢の変化にも的確かつ柔軟に対応しながら、一度掲げた目標はできる限り実現させたいと考えています。

現していくという気持ちで、計画を一步一步着実に前進させていかなければならないと考えています。  
さて、いよいよ五月十七日から「男子世界ハンドボール選手権大会」が始まります。熊本にとって初めての国際的スポーツイベントであり、本県の国際化やスポーツ振興を進めるうえでも大きな意義をもつこの大会を是非成功させたいと思っています。一人でも多くの方においでいただき、県民の皆様からの熱い声援と応援を賜います。大会を盛り上げていただきますようお願いいたします。  
私が県政をお預かりして七年目になりますが、これからも「公正・公平・公開」を旨に生活者の視点にたった県政運営に努め、「真に住みやすいくまもと」づくりを全力を尽くしていきたく思います。今後とも、県政に対する皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

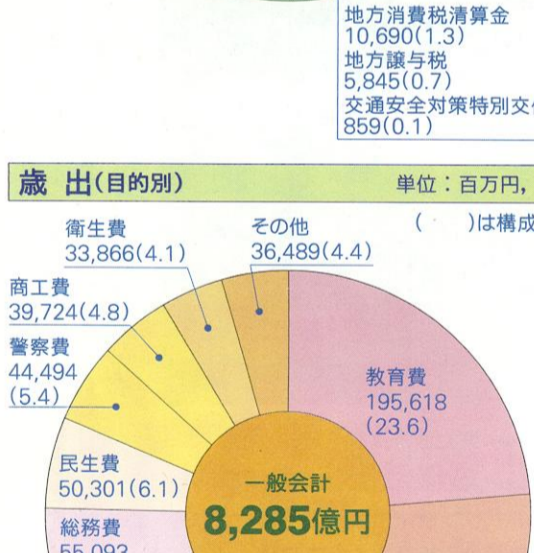
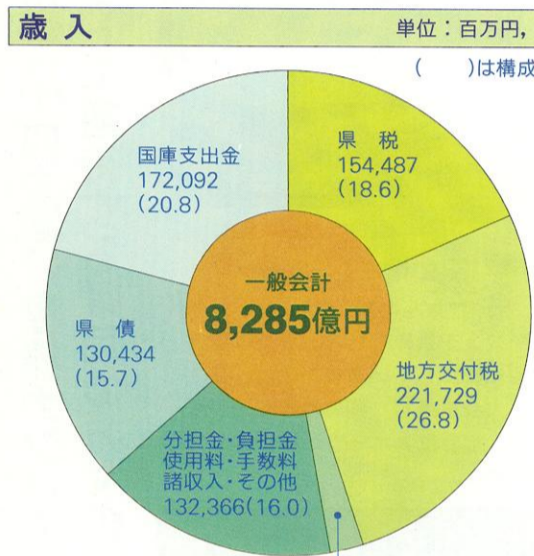
# 優しさにあふれ、躍動するくまもとを 目指して。

今後の県総合計画の展開と平成九年度当初予算の概要についてお知らせします。

## 平成九年度当初予算について

### 予算編成の基本的な考え方

歳入面では、緩やかながら景気に回復の基調がみられることに伴い、県税の伸びが見込まれるもの、地方交付税の伸び悩みのために全体としては一段と厳しい状況にあります。このため、熊本県第二次行政改革大綱を踏まえ、歳出を抑制する観点から従来にも増して徹底した歳出の見直しを行いました。同時に、県総合計画を着実に推進し、計画策定後の社会経済環境の変化にも対応する



※各項目の数値は、表示単位未満を四捨五入したものです。内訳は合計と一致しない場合があります。

### 予算の特色

県総合計画に戦略プロジェクトとして掲げた事業の推進をはじめ、九州新幹線の建設促進、少子・高齢化対策の充実、ウルグアイ・ラウンド農業合意に伴う農業農村対策、水俣病対策の推進と環境基本計画に基づく具体的な施策の推進、男子世界ハンドボール選手権大会の開催、くまもと未来国体への準備、さらには三井三池炭鉱閉山対策、市町村合併支

### 予算の主な内容

援対策、地域づくりの強化などが九年度予算の特色です。

豊かな生活環境を築くために  
◎生活関連公共施設等  
快適で豊かな環境の実現に向けて、道路・下水道・住宅などの整備や地域景観の保全・創造を進めます。  
・球磨川上流域域下水道建設事業 二十六億三千万円

◎交通安全対策  
交通事故を防止するため、交通安全施設の整備やシートベルト着用を進めるなど、安全で住み良い熊本づくりを進めます。  
・災害や事件の状況は速に、的確な対応を図るため、ヘリコプターを利用したテレビシステムを新たに整備 二億九千六百万円



整備が進む球磨川上流域域下水道

